

校正ノート No.1

2014.11

プリプレス部 校正担当・中里
制作・竹沢

社長はじめ社員の皆さん、日々のお仕事お疲れさまです。季節の移ろいは速いもので、秋も深まってまいりました。齢を重ねるにつれて、時の迅速な流れはよりその感を増してきます。さて、当社も第60期を迎え、心機一転何か事を始めようと思い、校正の仕事の中で感じたこと、学んだこと、お客様からお教えいただいたこと等、ノートにして皆さんに発信していくことにしました。今更のこともあるかと思いますが、お役に立てばうれしいです。月1回の発行を予定し、制作は竹沢君に担当してもらいました。どうぞ、よろしくお願いします。

TOPICS = 誤用に御用心 =

先日、毎年恒例となった文化庁の「国語に関する世論調査結果」平成25年度版が公表された。普段何気なく使っている表現の誤用チェックに役立っているが、今回はこんな表現が取り上げられた。

(左：本来の意味 → 右：誤用)

・世間ずれ	世間を渡ってずる賢くなっている → 世の中の考えから外れている
・やぶさかでない	喜んでする → 仕方なくする
・まんじりともせず	眠らないで → じっと動かないで
・煮詰まる	(議論や意見が十分に尽くして) 結論が出る状態になること → (議論が行き詰まってしまって) 結論が出せない状態になること

以上が誤用の割合が高いものであるが、「煮詰まる」は完全に誤用の意味に取っていた。

他に、過去の調査結果を見ると、

- ・役不足 本人の力量に対して役目が軽すぎる → 本人の力量に対して役目が重すぎる
- ・流れに棹さす 傾向に乗って、勢いを増す行為をすること → 傾向に逆らって、勢いを失わせる行為をすること
- ・気が置けない 相手に気配りや遠慮をしなくてよいこと → 相手に気配りや遠慮をしなくてはならないこと
- ・檄を飛ばす 自分の主張や考えを、広く人々に知らせて同意を求めること → 元気の悪い者に刺激を与えて活気付けること

等が、誤用の多い例である。「檄を飛ばす」は特にマスメディアによく現れる表現であるが、もう誤用以外の意味がなくなっているのではないと思われる程だ。

言の葉、ひらり

同音異義語・同訓異義語の使い分け、似た言葉で間違いやすい使い方等、校正中これでいいのかともややした気持ちで仕事を進めると後味が悪い。調べると宙に舞っていた言の葉の意味がひらりと掌に落ちて、すっきりする。

「商品」と「賞品」

お客様の原稿でよく目にし、制作者からもどっちだろうと聞かれ、ちょっと考えてしまう言葉が多くあるが、これもその一つ。

「商品」＝商行為の対象となる品物、対価をもって販売される。例えば、抽選で何名様限りの特別価格の品物。

「賞品」＝賞として与えられる品物。例えば、抽選の結果の賞として供される物。プレゼントとする表記があれば「賞品」とした方が無難だろう。

ということで、適宜原稿に直しを入れることがある。

また、似た言葉で「景品」があるが、これは商品にそえてお客様に贈る品物で、言わばおまけ。褒美として与えられる品物である「賞品」と区別される。

「機」と「器」

これも考えてしまう字で、カタログがあればそれに合わせて直すのだが、あらためて調べてみると、

「機」＝動力を用いて操作する装置(マシーン)。動力があって、自分で動いたり、作動して役に立つ。「機械」

「器」＝人間が直接動かし、比較的小型で小規模な装置や道具(インストルメント)。「測定器械」「光学器械」

原則はこういうことだが、小型のものでも電話機は「機」で、充電器は「器」であるのはどういうこと？と思って調べると、電話機は受信するとき、人の手を介さず勝手に鳴る、充電器はどこかが動いたりするわけではない、という理屈らしい。また、「除湿機」「加湿器」という表記になっている場合は大小での区別、ということである。

歳時記

11月の時候挨拶

晩秋、向寒、初冬、寒冷の候

3日(月) 文化の日 日本国憲法が公布された日。

かつては、明治天皇の誕生日であることから天長節、明治節と呼ばれた。

7日(金) 立冬 二十四節気の一、冬の始まり。「立」には新しい季節が始まるという意味がある。

9日(日) 秋季全国火災予防運動 「119番の日」を起点とする一週間。

11日(火) 世界平和記念日 第一次世界大戦が終結した日。欧米では祝日。

15日(土) 七五三 五代将軍徳川綱吉が長男の健康を祝った日から始まるとの説がある。

19日(水) 農協記念日 農業協同組合法が公布された日。

22日(土) 小雪 二十四節気の一、わずかながら雪が降り始める日。

喪中はがき・年賀状のシーズン。先ずは早めの準備で喪中はがきが先行。

一般的には、先様が年賀状の準備を始める前の、10月下旬～12月中旬に投函し、遅くとも郵便局の年賀状受付開始日以前に着くように出すのが礼儀。

年賀状の受付は12月15日(月)からで、12月25日(木)までにお出しください、と郵便局のサイトにある。

竹沢×モ

入社して半年が過ぎ、制作や校正、印刷工程の難しさを痛感しております。

1回目となる今回は自己紹介をします！

竹沢は栃木市生まれの30歳で今年5月に宇都宮へ引越しをしました。音楽をやっていたのですが、ここ最近は楽器に触れる事が無く、先日やっとベースを弾きましたが指が痛くてまったく弾けませんでした。他にもたくさん趣味を増やしていきたいです。